

# 給食早期再開

## 立川市に要望

食中毒で民進議員ら

立川市の市立小学校7校で集団食中毒が発生した問題で、民進党の長島昭久衆院議員や民進会派の都議と同市議の計6人が9日、立川市役所を訪れ、清水庄平市長に中止している学校給食の早期再開などを要望した。清水市長は「貧困家庭への補填などについて議論の方向性は出ている。一両日中に対応策

を示せると思う」と述べた。

立川市で食中毒が広がった5日後に、小平市の市立小学校でも同じ業者の「きざみのり」が原因の食中毒が起きたが、すでに給食を再開している。長島氏は「小平市とは規模が異なるが、どうしても比較せざるを得ない。早い決断、早い発表で安心してもらうことが大切だ」と述べた。

立川市の集団食中毒は、7小学校の児童と教職員計1098人に症状が出た。同市は3月いっぱい給食の中止を決めた。市の共同調理場の給食を利用して13小学校の児童5808人が影響を受けている。